

日本の二大政党制が本格化すると 経済政策に どのような影響を与えるか

同志社大学政策学部 田中宏樹ゼミ Bパート

福田・井尻・金井・中江・嶋岡

フローチャート

現状分析

「日本は二大政党制化しつつある」

中位投票者定理
の立証

「日本において、政策は収束していない」

仮説 & 実証分析

「選挙公報の質が高まることは、
有権者の投票行動に影響を与えない」

政策提言

「有権者の投票行動に影響を与える」

1-1 二大政党制の定義

<日本の二大政党制の定義>

G.Sartori

加藤(2005)

「二つの政党間で
政権交代の可能性があること」

- ・得票率の差が小さい
- ・得票率二党合計値が高い

1-2 小選挙区制の導入

<小選挙区制の導入>

デュベルジェの法則

①自動機械的要因

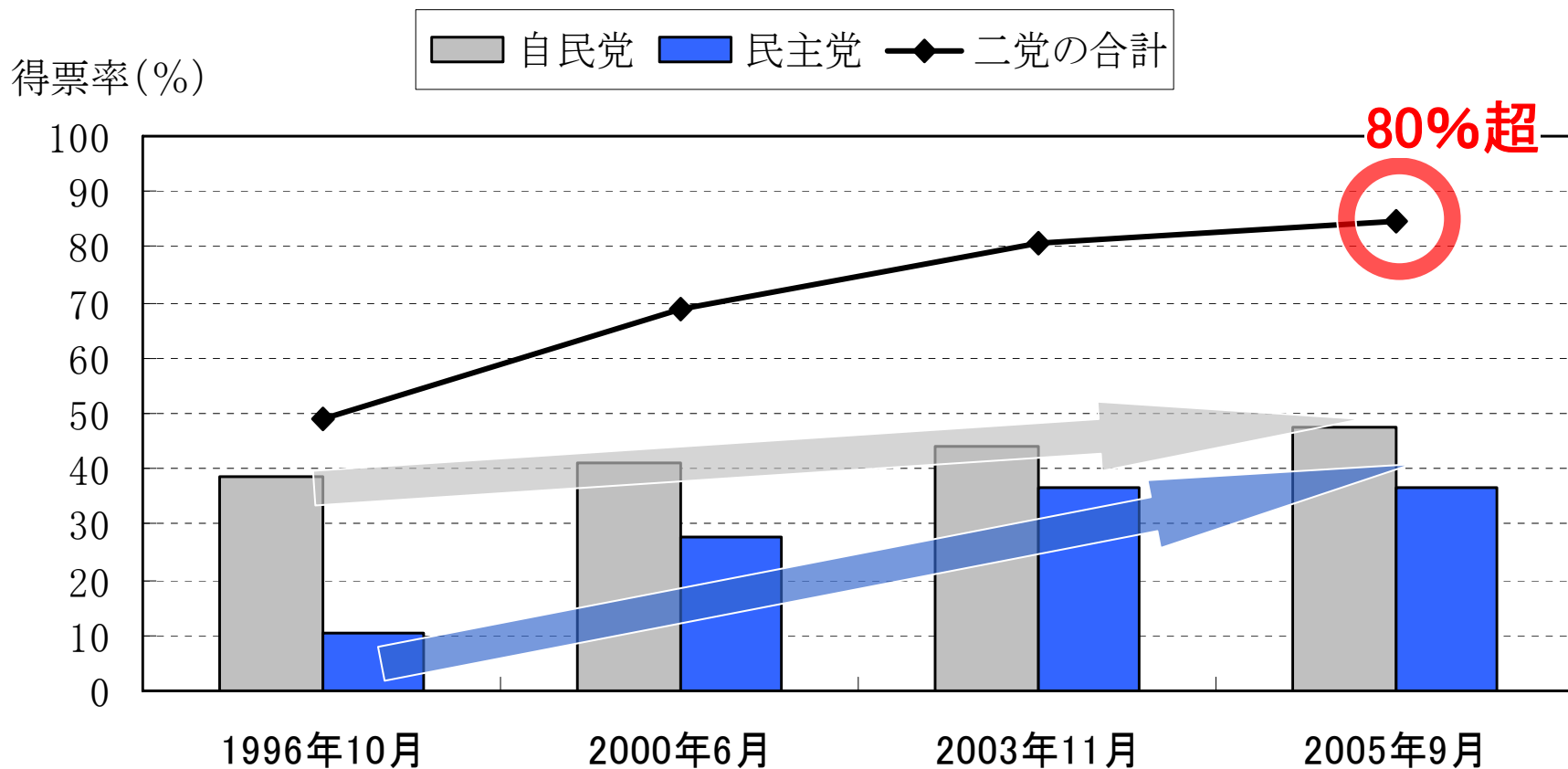
②心理的要因

有力政党に票が集中

二大政党制に近づく

1-3 得票率の推移

自民党・民主党得票率の推移(小選挙区)

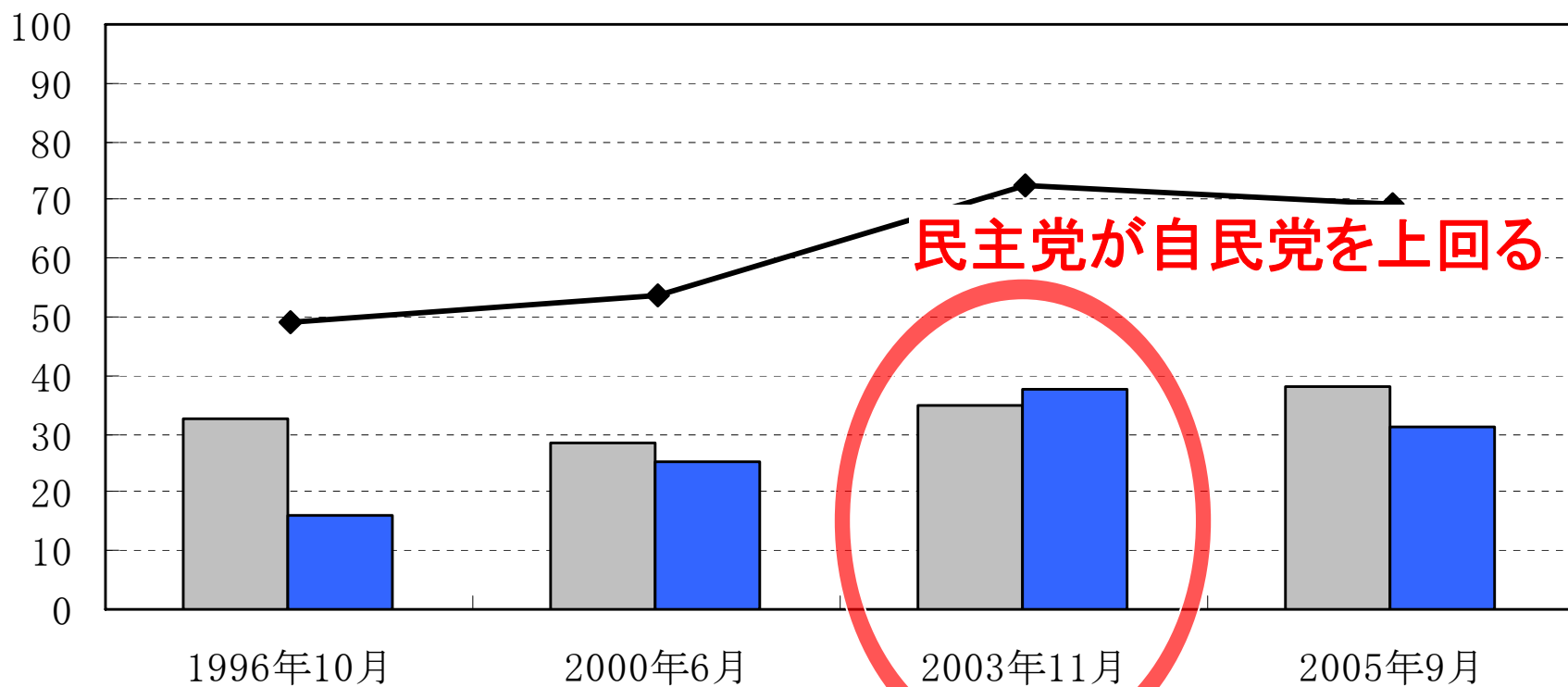


1-3 得票率の推移

自民党・民主党得票率の推移(比例代表)

■ 自民党 ■ 民主党 ◆ 二党の合計

得票率(%)



民主党が自民党を上回る

総務省HPより作成

1-4 日本の二大政党制化

小選挙区の導入

+

得票率の拮抗



日本は
二大政党制化しつつある

フローチャート

現状分析

「日本は二大政党制化しつつある」

先行研究の整理

政策の収束をめぐる理論とその実際
主成分分析による考察

仮説 & 実証分析

政策の差異と投票行動
有権者の投票基準に関する実証分析

政策提言

Specific, Familiar, Reliable政策の提言

2-1 政党の行動

中位投票者定理

二大政党制化後

自民党の政策 民主党の政策

二大政党制化すれば
政策が収束していく

安定的・支配的な社会的決定点

2-2 仮説の設定

では、現在の日本において、

- ・中位投票者定理はあてはまるのか？
- ・政策は収束するのか？



主成分分析

2-3 分析法

デー

2005年衆院選 主要5政党のマニフェスト

8分野

97項目

社会保障等

教育・文化

財政

地方分権等

経済等

農林水産

治安・防災

行政改革

社会保障費

健康的な生活

医療制度改革

介護保険

⋮

教育基本法

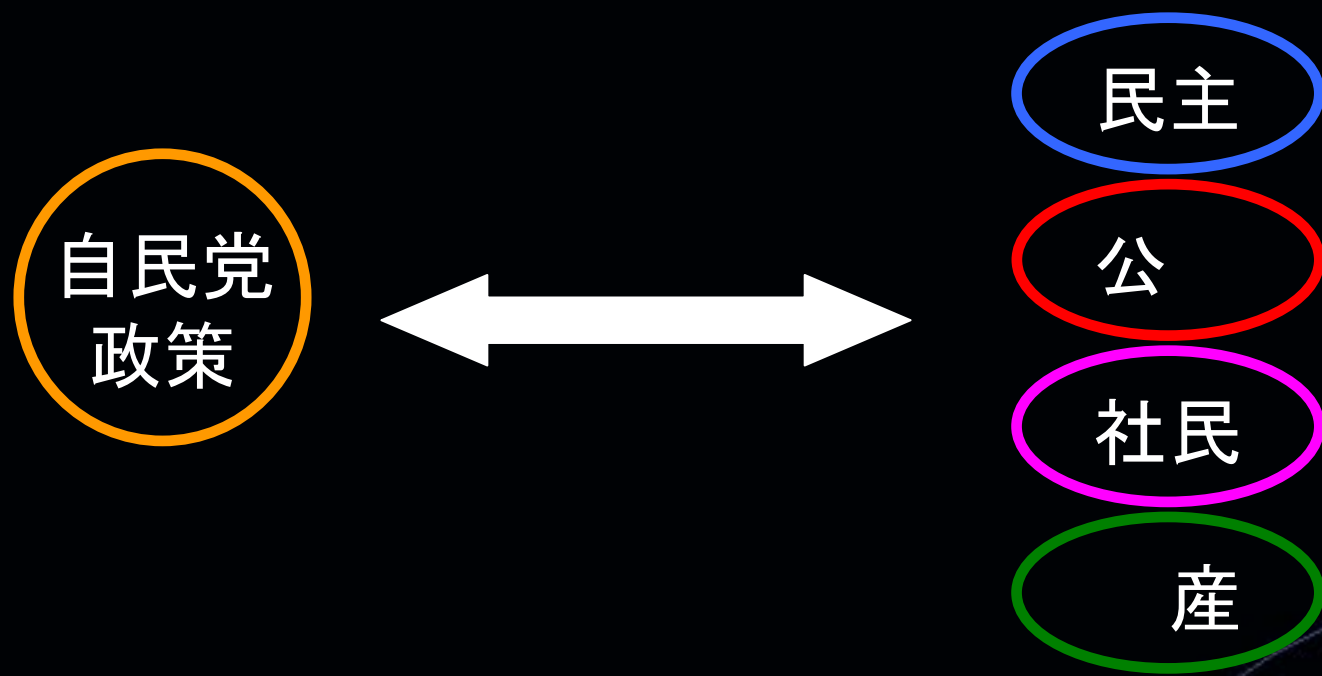
幼児教育

義務教育

⋮

自民党
マニフェスト

2-3 分析法



同 0点
がない、でない 点
う 2点

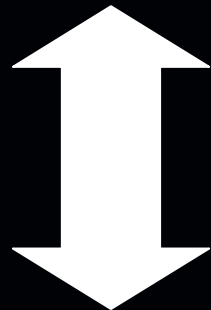
2-3 分析法

社会保障等

一マ 年金 化

自民

化推



民主

ての年金を 化

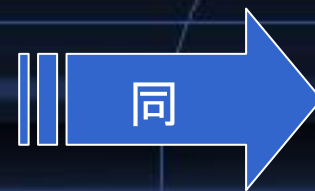


2点

公

生年金と 済年金の

合を推



0点

2-3 分析法

	自民党	民主党	公 党	社会党	産党
社会保障の 民	0				
健康的な生活	0		0		
医療制度改革の 行	0		0	0	2
介護保険	0		0		
(年金) 支 金	0				
(年金) 一マ	0				
年金 化					
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・

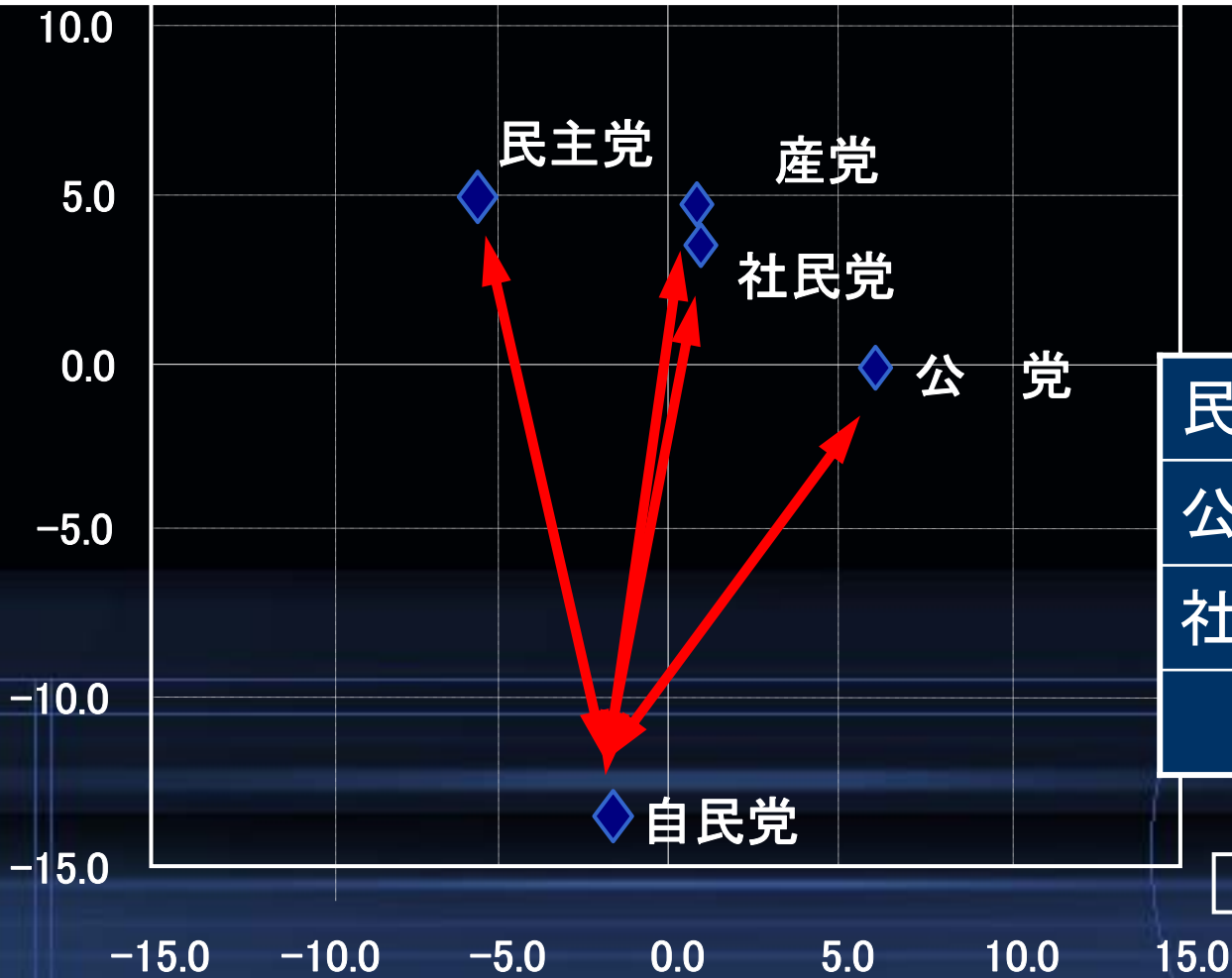
主成分分析

97項目

2-4 分析

主成分

自民党と 政党の政策



民主党	18.76
公 党	15.18
社民党	17.08
産党	18.11

二主成分¹⁵

フローチャート

現状分析

「日本は二大政党制化しつつある」

中位投票者定理
の立証

「日本において、政策は収束していない」

仮説 & 実証分析

政策の差異と投票行動

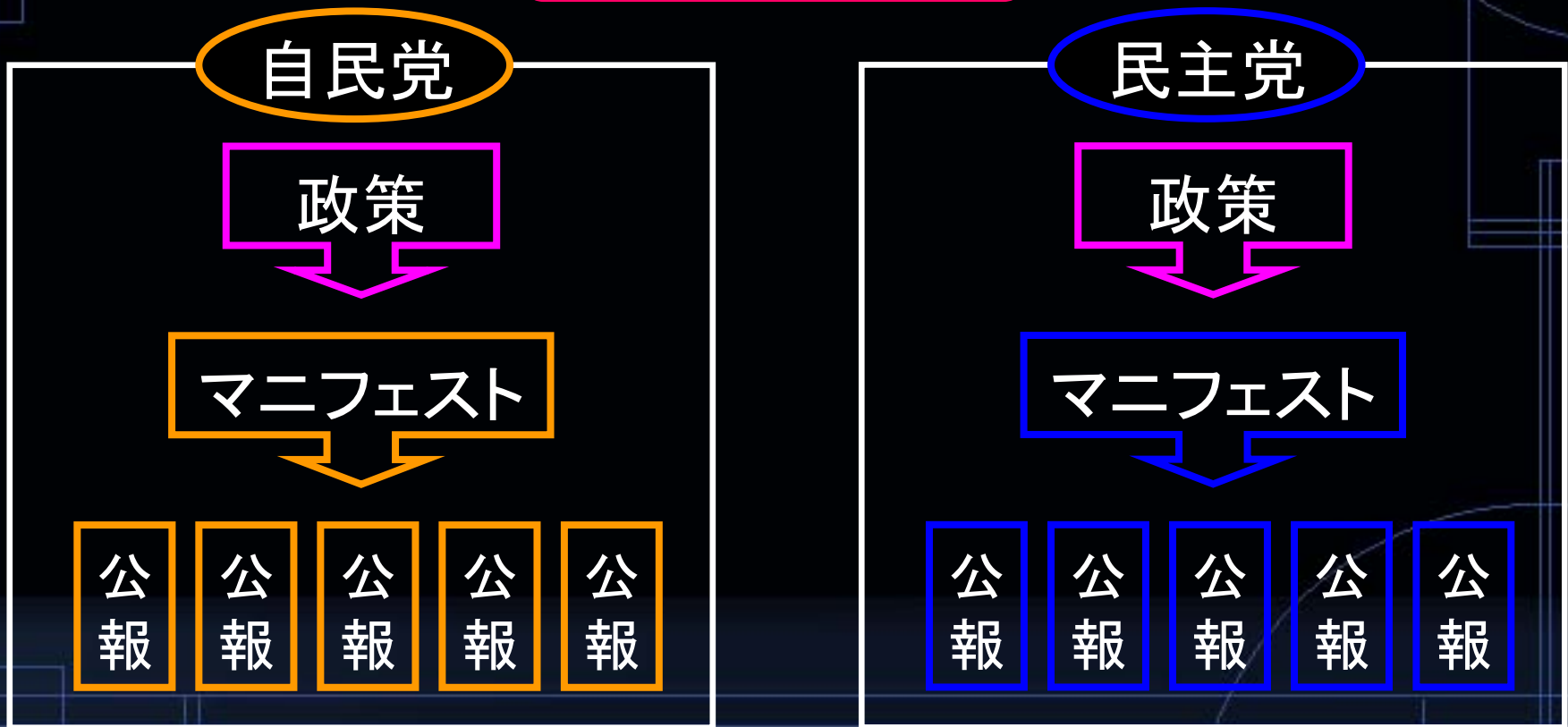
有権者の投票基準に関する実証分析

政策提言

Specific, Familiar, Reliable政策の提言

3-1 仮説の設定

二大政党制化



マニフェスト・選挙公報は有権者が政策を する

3-1 仮説の設定

<有権者の 基準>

- ・ 者の ?
 - ・ 政党の い?
 - ・ 政策の質の高さ?
 - ・ 地に有 な政策?
- 政策が...
- ・ しく されているか
 - ・ 理 し すいか

仮説

「有権者は選挙の際に
政策の質が高い 者に投票する」¹⁸

3-2 分析法

分析

2005年衆院選300小選挙区のデー

デル

$$Y_i = \alpha_1 + \beta_1 X_{1i} + \beta_2 X_{2i} + \beta_3 X_{3i} + \beta_4 X_{4i} + \beta_5 X_{5i} + U_i$$

ル

自民党、民主党が方ている280選挙区

3-2 分析法

$$Y_i = \alpha_1 + \beta_1 X_{1i} + \beta_2 X_{2i} + \beta_3 X_{3i} + \beta_4 X_{4i} + \beta_5 X_{5i} + U_i$$

Y 得票率差

X_1 公報の質の差

(+)

X_2 化度

()

X_3 選回 差

(+)

X_4 導 政策の差

(+)

X_5 選挙区 ミー

(+)

3-3 分析

			P値
公報の質の差			0.206278
化度	-8 -05	-0.28248	0.777788
選回 の差	0.017586	8.502345	1.23 -15
導 政 策			0.744696
選挙区			0.452379
定 項			3.27 -07

公報をより 的に
しく作成することは、
得票に つかない

有権者は
選回 の い 者に
投票している

3-4 分析 の考察

回 分析



選挙公報の質が高まることは、
有権者の投票行動に影響を与えない

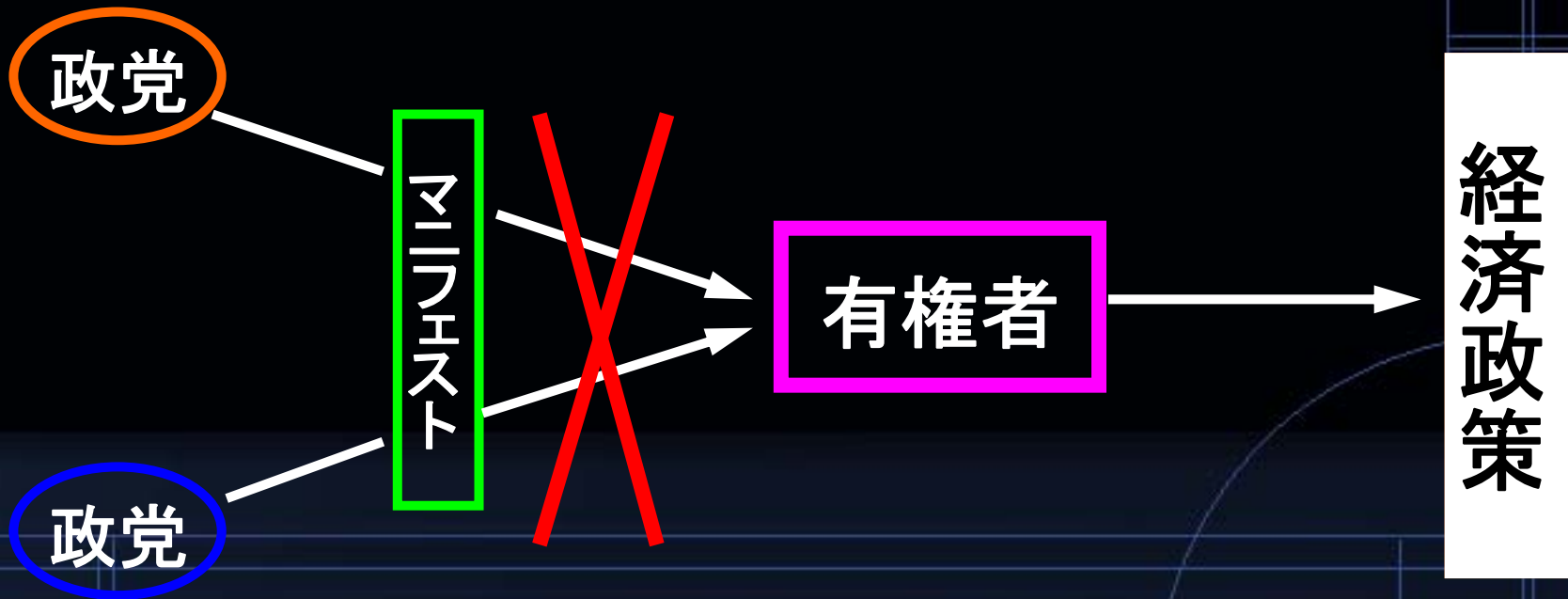


立証されなか

政策を 考に投票していない

3-4 分析 の考察

経済政策決定 ロス



現在の日本で二大政党制が本格化して 経済政策に影響を与えることはない

フローチャート

現状分析

「日本は二大政党制化しつつある」

中位投票者定理
の立証

「日本において、政策は収束していない」

仮説 & 実証分析

「選挙公報の質が高まることは、
有権者の投票行動に影響を与えない」

政策提言

Specific, Familiar, Reliable政策の提言

の 因

「選挙公報の質が高まることは、
有権者の投票行動に影響を与えない」



質の高い経済政策を して
有権者には ない

因① マニフェスト・選挙公報が 的でない

因② 有権者がマニフェストを るチャ スがない

因 有権者がマニフェスト・選挙公報を で ない

因① o pecific

マニフェスト・選挙公報が 的でない ため、
有権者は を理 しづ く、 ていない

<選挙公報・マニフェスト>
・政党、 者が 自に作成
・ ージ についての 定なし



マニフェストをS R 基準で分析

因① o pecific

S R 基準... を定 化

- ① 性
- ② 定可能性
実現可能性
性



25点 点で 点
合計 50点

自民党
0点 450

民主党
285点 450

提言1 Specific manifesto to 政策

マニフェスト・選挙公報に 値目
成 間などを することを義務化



有権者は 者の 的な政策の を
ることがで る



有権者が政策 で
投票を行うようになる

因② o c a c e

manifesto・election announcement cannot be read, therefore, voters cannot consider the manifesto

<Public Election Act 142 2 of 2 items>

manifesto distribution is not stipulated



- ・election duty
- ・party speech
- ・meeting
- ・speech

manifesto is not included

提言2 Familiar ma ife to政策

142 を法改 し、配 を す

- ・ ニ ススト
- ・ の
- ・ 可され 会社
- ・ の公立学
- ・ 可され 立学
- ・ フ ー ーパーに リ



マニフェスト・選挙公報を るチャ スが え、
有権者は投票の際、 考にし すくなる

困る理由

マニフェスト・選挙公報を していないため、
有権者がマニフェストを 考にしない

マニフェストどおりに政策が
実 される保証がない



有権者がマニフェストを
るは がない

提言 Reliable manifesto 政策

< マニフェスト 機関 >

自

+

者

二のり
を

政策をし 政党・
者が自

政党・ 者 が

自 と 者 の ヤ により
の論点を 化

マニフェスト の を高め、
有権者が投票の際、 考にするようになる

まとめ

Specific
ma ife to

Familiar
ma ife to

Reliable
ma ife to

つす てを実行する



有権者が政策を て投票するようになる

二大政党制の本格化が
経済政策に
な かの影響を与える

考文・R

- 井 宏 2005 ゼミール公 経済学入 日本経済 社
 井 宏 (1998) 日本政治の経済分析 社
 加藤 治 (2005) 日本政治の 小選挙区導入 後の政治 社
 ・ 野 ・ 野 ・ 加藤 (2001) 現代の政党と選挙
 有 ルマ
 (2006) 経済政策を う の 改革 日本 論社
 小林 (1991) 現代日本の選挙 大学 会
 小林 (1997) 現代日本の政治 日本 民主主義の計 分析
 大学 会
 田中 (2005) 日本の総選挙1946-2003 大学 会
 (1996) 政党学 その理論と実際についての研究
 法 会社
- 論文**
- Sartori G. 1976 *Partie a part tem a frame or for a al i
 e or ambri e i er it Pre*
 (岡 野 (1992) 現代政党学 政党 ス 論の分析
 田大学 部)
 井 (2006)「小選挙区 代 制 小選挙区にお る得票
 」
 ジュ スト 1311 pp 36 47
 (1993)「 な 二大政党 デル」
 論 11月 277 289
 ・ (2005)
 「2005年総選挙分析—自民党 の 地方の が 「
 の 」」
 中 公論 11月 pp.108 118
 会社日本総合研究 部 経済・社会政策研究 —
 「自民・民主 党のマニフェスト S R 基準か の 分析
 」
 ttp .ri.co.p pre 2003 1024-2.p f
- (2004)「二大政党化 が、 者は公 か」
 論 月 pp 104 111
 岡 (2004)「二大政党制 の を する」
 中 公論 月 pp 78 88
 (2003)
 「 際 力移動の公的年金制度 の 中位投票者 デルによ
 る理論分析」
 学 大学経済学部論文集 13 2 pp 55 73
 田 (1998)「選挙公 デー について」
 法学 48 2 pp 541 572
 教(2005)「政権 か か、野党の を できるか」
 中 公論 10月 pp 70 77
 田中 (1995)「財政 と 率の同 決定と中位投票者理論」
 経済学論 36 4 pp 211 230
 (2006)「選挙 と 者の政策的主 」
 2006年公共選択学会報告論文
 治(2004)
 「ロー ル・マニフェストにお る とマニフェスト・ ル」
 F tit te R P R ol.10 o.1
 ttp .m rc.p report f report 1001 51.p f
 本 (2006)「 政選挙にお る選挙公 と 者」
 「投票率」と 定要因としての「政策差異の実証分析」
 2006年公 選 学会報 論文
 (2001)
 「「小選挙区制は二大政党制に有 に くか？」 つの実証分析」
 関 大学総合 報学部 要 15 pp 25 31

考文 ・ R

2005年マニフェスト

自民党 [ttp://manifesto.mai.eio.ac.jp/archive/2005/imi.pdf](http://manifesto.mai.eio.ac.jp/archive/2005/imi.pdf)
民主党 [ttp://www.dp.or.jp/idea/ooima/BSG0062/aro.pdf](http://www.dp.or.jp/idea/ooima/BSG0062/aro.pdf)
産党 [ttp://www.cp.or.jp/idea/2005/20050811/idea.pdf](http://www.cp.or.jp/idea/2005/20050811/idea.pdf)
社民党 [ttp://www5.dp.or.jp/central/topic/44/idea/idea2005.tml](http://www5.dp.or.jp/central/topic/44/idea/idea2005.tml)
公党 [ttp://www.omei.or.jp/manifesto/idea.tml](http://www.omei.or.jp/manifesto/idea.tml)

47 300小選挙区選挙公報

2003年衆院選挙分析

[ttp://freett.com/analysis/ata2003/ata2003.html](http://freett.com/analysis/ata2003/ata2003.html) (2006.8.31)
[aai.com/2005総選挙](http://www.aai.com/2005総選挙) [ttp://www2.aai.com/eo2005/](http://www2.aai.com/eo2005/) (2006.8.29)

総務省 [ttp://www.som.o-pi.e.tml](http://www.som.o-pi.e.tml)

計 [ttp://www.tat.o-p](http://www.tat.o-p)

研究 [ttp://www.rie.ttp.pac.fc.eio.ac.jp/oe-lab](http://www.rie.ttp.pac.fc.eio.ac.jp/oe-lab)

2 [ttp://www.ec.p](http://www.ec.p)

法 [ttp://www.o-o.com/00/01/S25/100.H](http://www.o-o.com/00/01/S25/100.H)

ありがとう いまし